

第107期

株 主 通 信

2020年4月1日～2020年12月31日

KITZ株式会社 **キッツ**

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、皆様の早期回復と一日も早い感染の収束を心よりお祈り申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆様に深く感謝申し上げます。

キッツグループは、社員及び関係者の皆様の感染リスクの軽減と安全確保を最優先としたうえで、お客様に商品やサービスを継続的に提供することを企業としての最大の使命と考え、企業活動を行っております。また、新型コロナウイルス感染症収束後の社会・経済の構造変化に対応するべく、収益の回復と経営基盤のさらなる強化に向けた取り組みを進めてまいります。

キッツは、今年、創業70周年の節目を迎えました。100年企業を目指し、さらに成長を続け、新たな歴史を作ってまいります。株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年3月

代表取締役社長 **堀田 康之**

ドーム兄弟
風景文脚付双耳花瓶

制作年：1900年頃
高さ：21.8cm

ガラス層の間に絵柄を挟み込む「アンテルカレール技法」による逸品。朝霧に包まれた野原の風景が茜色に染まり幻想的に浮かび上がる。ドーム兄弟はこの技法で特許を取得している。

北澤美術館所蔵

キッツは、社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館の活動を支援しています。

当期の業績と今後の取り組み内容について
堀田社長に伺いました。

代表取締役社長 堀田 康之



当期(2020年度)の連結業績の概況

**Q 当期は前期に比べて
大幅な減収となりました。**

**A 新型コロナウイルス感染症拡大の
影響により、バルブ事業及び伸銅品事業
ともに減収**

決算期を3月から12月に変更したことに伴い、当期は9ヵ月決算となりましたので、前期の第3四半期累計の業績との比較となりますが、連結売上高は、前年同期比98億37百万円減の842億45百万円となりました。バルブ事業では、半導体製造設備向けは国内・海外ともに増収となったものの、国内市場では建築設備向け、工業向けともに新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みにより減収となりました。海外市場においても、いち早く経済活動を再開した中国向けが増収となったものの、欧米・アセアンなどでは新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みや原油価格低迷の影響もあり減収となり、バルブ事業の売上高は、前年同期比56億62百万円減の701億29百万円となりました。

伸銅品事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大による大幅な需要の減少により、前年同期比29億59百万円減の129億52百万円となりました。その他(サービス関連の事業)についても、ホテルの臨時休業などにより前年同期比12億15百万円減の11億63百万円となりました。

Q 営業利益も減益となりました。

**A 販売量の減少によりバルブ事業、
伸銅品事業ともに減益**

損益面においても、半導体製造設備向けが増収に伴う増益や、新型コロナウイルス感染症拡大に対応した営業経費の減少はありましたが、販売量減少の影響が大きく、バルブ事業の営業利益は前年同期比9億58百万円減の67億8百万円となりました。

伸銅品事業においても、大幅な販売量の減少により、前年同期比1億77百万円減の1億46百万円の営業損失となりました。また、その他(サービス関連の事業)についても、前年同

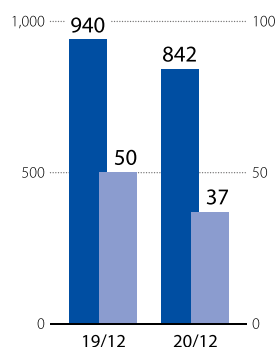
セグメント別売上高・営業利益

(単位：億円)

決算期変更の変則期間である2020年12月期は、前年同一期間である前第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)との比較を記載しています。

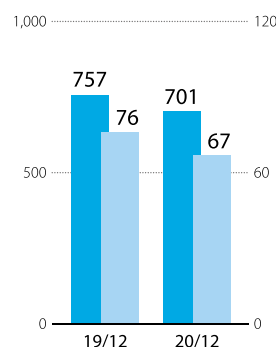
連結

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



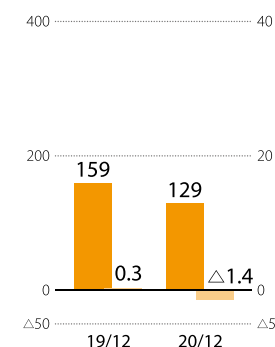
バルブ事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



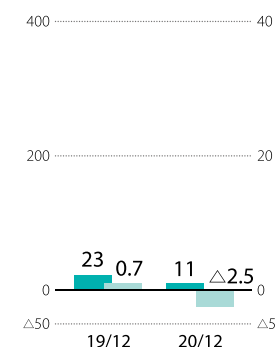
伸銅品事業

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



その他

■ 売上高(左軸)
■ 営業利益(右軸)



期比3億32百万円減の2億54百万円の営業損失となった結果、連結営業利益は前年同期比12億59百万円減の37億51百万円となりました。経常利益も、前年同期比16億72百万円減の31億

69百万円と大変厳しい結果となりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比13億80百万円減の21億13百万円となりました。

新型コロナウイルスがもたらした変化

Q 新型コロナウイルス感染症拡大によって働き方に変化はありましたか。

A 従来の働き方を見直すきっかけに

今回のパンデミックは、世界経済・日本経済に甚大な影響を及ぼしており、キッツも例外ではありません。一方、私たちの生活や働き方にも様々な変化をもたらしており、決して悪いことばかりではないと、前向きな捉え方もしています。企業として、第一に優先すべきは、社員とその家族の安全・安心を確保することですが、新たな生活様式のもとで、今まで以上に「やりがいを持って働くことができる会社にする」との重要性を改めて強く認識することができました。



(上) 本社1階エントランスに、デジタル掲示板と非接触体温測定機を設置
(下) 本社社員食堂のテーブルに、感染防止のためのアクリル板を設置

今回、テレワークが必要になったことに伴い、従来の働き方、仕事のやり方の問題点がクローズアップされました。具体的には、紙を使用する業務、出張そして会議です。これらについては、その必要性を含め、やり方を根本から見直すきっかけとなりました。これは新型コロナウイルスが私たちにもたらした「気づき」の一つだと思います。

Q その他に「気づき」があれば具体的に教えてください。

A さらにデジタル化とリスク管理の強化

テレワークでも、会社にいる時と同じように仕事をするためには、仕組みやルール作りなど、やらなくてはならないことがたくさんあります。キッツではIT環境の整備など、まだまだデジタル化が遅れ

ていることを痛感しました。デジタル化への取り組みを加速させ、問題点、課題を解決していくことにより、社員が無駄な動きをすることなく、価値のある仕事に集中できる環境を整え、より達成感とやりがいのある仕事ができるように取り組んでまいります。

また、これまでは、地震や台風などの自然災害を事業継続に支障をきたす主要なリスクとして認識していましたが、今回のパンデミックは全世界を巻き込む巨大なものとなりました。どこかの国で重大な問題が発生すれば、その影響が一気に全世界に広がります。もはや国境はなく「世界は一つ」だということが再認識されました。さらに実効性のあるBCP(事業継続計画)の策定を進めてまいります。

Q 「持続可能な社会」に向けての取り組みについて教えてください。

A エネルギーシフトや循環型社会に対応

デジタル化と並んで重要なテーマとなってくるのは「持続可能な社会」に向けた取り組みです。

2020年10月、キッツが参画しているNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)による水素に関する技術研究を通じた活動をご評価いただき、経済産業省より、脱炭素社会の実現に向けたイノベーションに挑戦する企業として「ゼロエミ・チャレンジ企業」に選定されました。また、水素分野におけるグローバルな連携や水素サプライチェーン形成を推進する「水素バリューチェーン推進協議会」にも加入しました。エネルギーシフトや循環型社会への対応を通じて、環境負荷低減に貢献する取り組みを進めてまいります。それらを含め、持続可能な社会の実現に向けて、我々に何ができるのか、我々は何をすべきか、について、2050年に目指す姿を見据えて検討し、ESG/SDGsといったサステナビリティの視点を具体的に取り入れ、数値目標も定めて社内外に発信したいと思います。



水素ステーション内の配管

Q 社長交代を発表されました。

A 強い意志と実行力を持った河野取締役役にバトンタッチ

2月12日開催の取締役会において、代表取締役の異動を決議し、同日公表しました。

私が社長に就任した13年前とは、世の中の動きは大きく変わりました。グローバルな産業構造の変化に加え、地球環境に対する危機が浮き彫りになり、持続可能な社会の実現に向けての企業の責任が大きく問われるようになってきています。従来の考え方やり方ではなく、新たな切り口で「今までなんとなく是としてきた過去を思い切って断ち切る覚悟と、ありたい未来をしっかりと描き、その目標達成に立ち向かう強い意志と実行力」を持った人材に、キッ

ツ及びキッツグループの将来を委ねたいとの思いから社長交代を決意しました。3月30日開催予定の第107回定時株主総会におけるご承認とその後の取締役会の決議を経て河野取締役役に社長のバトンを渡します。私は代表取締役会長として河野新社長を支えてまいります。



2月15日開催 社長交代オンライン記者会見にて

今期(2021年度)の経営計画

Q 今期の業績見通しについて教えてください。

A 新型コロナウイルスの影響は今年も続く

新型コロナウイルスは、ワクチンの接種が始まったとはいえ、変異株が出現するなど、依然として予断を許さない状況であり、もしかすると、その影響は2021年中は続く可能性もあると思っています。国内市場については、緩やかに回復することが期待されるものの、先行きの不透明感から、企業の設備投資マインドは慎重となると考えています。一方で、海外市場においては、経済活動の制限と緩和が繰り返され、景気回復は国やエリアによって差が生じるのではないかと考えられます。

このような厳しい状況ではありますが、データセンター、5Gの通信施設及び物流施設への投資は継続的に見込めるものと考えています。半導体製造設備向けも長期的に成長が拡大する見通しであり、関連する投資も期待できます。また、コロナ禍にあっても既設プラントのメンテナンスは継続的に実施されることから、MROビジネスの拡大に注力してまいります。

● 2021年度経営計画

2020年12月期は、2020年度連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)を12カ月間(2020年1月1日～2020年12月31日)に調整した数値(非監査)を記載しています。

	2020年12月期	2021年12月期 経営計画
売上高	▶ 1,151億円	▶ 1,170億円
営業利益	▶ 53億円	▶ 57億円
経常利益	▶ 53億円	▶ 54億円
親会社株主に帰属する当期純利益	▶ 33億円	▶ 34億円
セグメント別売上高		
バルブ事業	▶ 953億円	▶ 950億円
伸銅品事業	▶ 181億円	▶ 196億円
その他	▶ 17億円	▶ 24億円
セグメント別営業利益		
バルブ事業	▶ 93億円	▶ 90億円
伸銅品事業	▶ △1.8億円	▶ 4億円
その他	▶ △3.4億円	▶ 0.2億円

Q 最後に、株主の皆様メッセージをお願いします。

A 新たな歴史に向かって

当期末の配当金につきましては、1株当たり4円(前回公表より1円増配)とさせていただきます。中間配当として5円の配当を実施しておりますので、年間配当額は9円となりました。9ヵ月決算であったことに加え、前年同期よりも減益となったことから、前期よりも減額となりましたが、連結配当性向は38.5%となりました。

配当金に加え、株主様への利益還元として、当期中に、261万3百株の自己株式を取得しました。これにより、連結総還元性向は121.5%となりました。なお、保有する自己株式の内、1,000万株を2020年10月に消却しました。

キッツは、1951年に株式会社北澤製作所としてスタートし、今年、創業70周年の節目を迎えました。次の80年そして100年に向けて、さらに成長を続け、新たな歴史を作ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

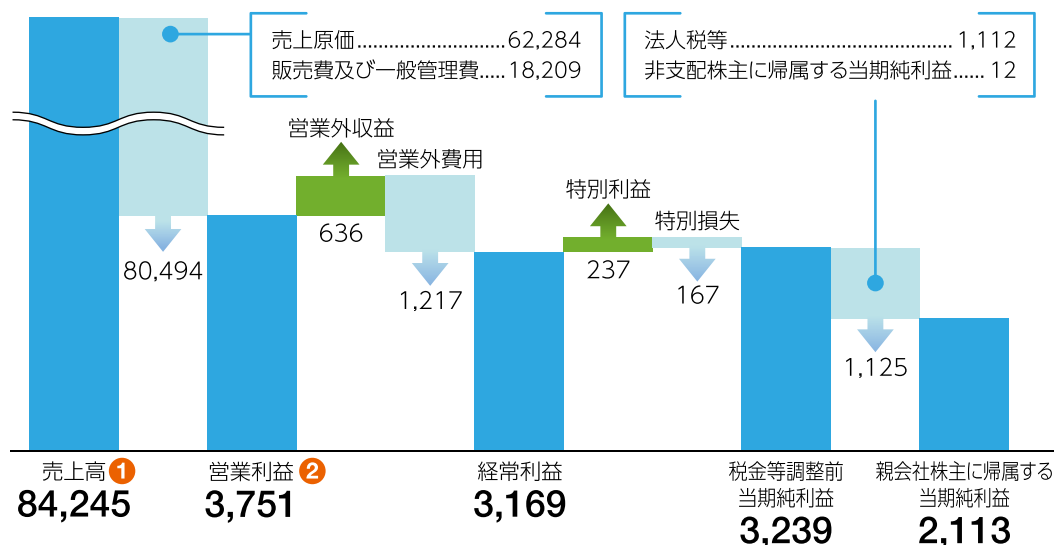


業績ハイライト

連結損益計算書の概要

当期 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(単位: 百万円)



Point ①

売上高

パルプ事業において、半導体製造設備向けは大幅に回復したものの、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の落ち込みや原油価格低迷の影響もあり、国内外ともに減収となりました。伸銅品事業においても、大幅な需要の減少により減収となった結果、前年同期に比べ10.5%減の842億45百万円となりました。

Point ②

営業利益

パルプ事業において、国内外ともに販売量が減少した他、伸銅品事業、その他(ホテル事業)において営業損失となったことから、前年同期に比べ25.1%減の37億51百万円となりました。

Point ③

総資産

売上高減少による受取手形及び売掛金並びに棚卸資産の減少はありましたが、社債発行による現金及び預金の増加などにより、前期末に比べ56億18百万円増加しました。

Point ④

負債

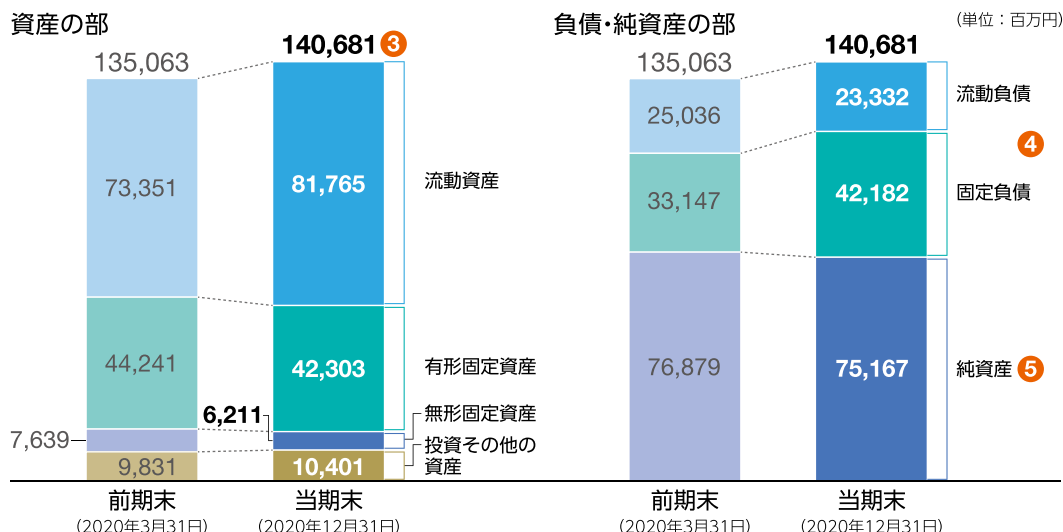
支払手形及び買掛金の減少などがありましたが、社債発行により有利子負債が増加し、前期末に比べ73億30百万円増加しました。

Point ⑤

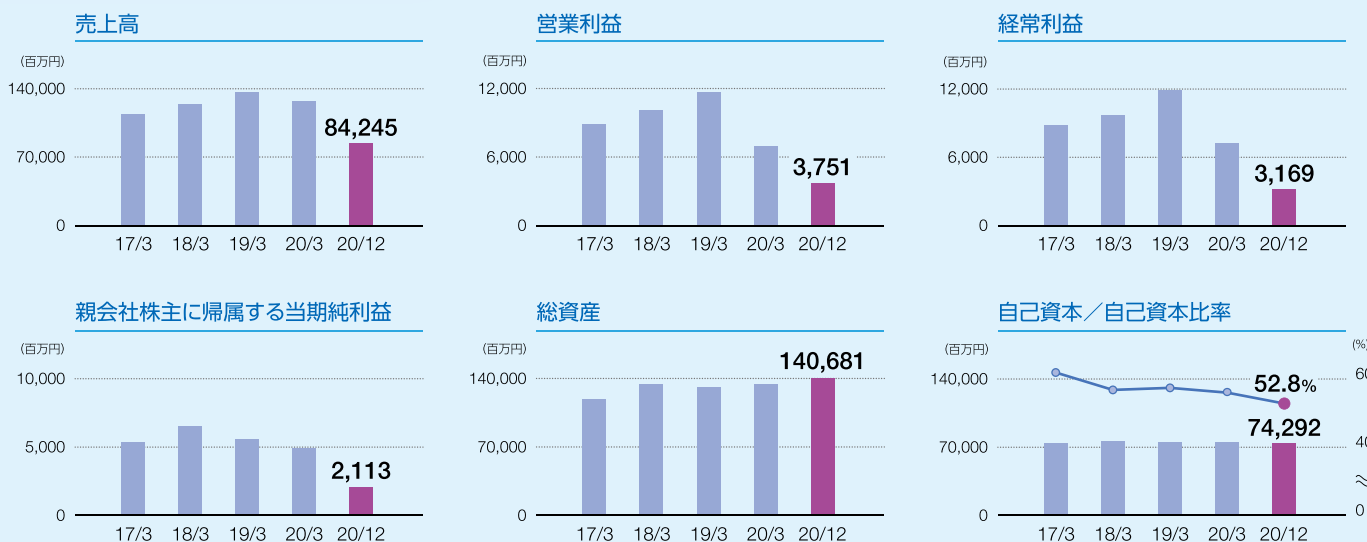
純資産

親会社株主に帰属する当期純利益21億13百万円の計上はありましたが、配当金の支払い、自己株式の取得の他、為替換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ17億11百万円減少しました。

連結貸借対照表の概要



主要連結財務指標の推移



※本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 ※決算期変更の変則期間である2020年12月期は9ヵ月決算となっています。

経済産業省「ゼロエミ・チャレンジ企業」に選定される



2020年10月、キッツは、NEDO*による「超高压水素インフラ本格普及技術研究開発事業における、水素ステーションのコスト低減等に関する技術開発」及び「水素社会構築技術開発事業における、液化水素用大型バルブの技術的開発」を通じた取り組みが評価され、経済産業省より「ゼロエミ・チャレンジ企業」の1社として選定されました。今後も、脱炭素社会の実現に向けたイノベーションに果敢に挑戦してまいります。

※NEDO:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

IoT・AIを活用したメンテナンスソリューションの提案に向けて

キッツは、プラントなどに配管されたバルブの異常検知と故障予測ができるように、IoTセンサーやAIを活用した技術開発に取り組んでいます。

現在は、お客様に協力していただいて収集した様々な流体によるデータをAIに学習させ、バルブに後付けしたIoTセンサーからクラウドに収集したデータを解析するシステムの開発を進めています。将来的には、タブレットなどを用いて、バルブの状態を離れた場所からリアルタイムで確認したり、トラブルの原因を解析したりするソリューションをお客様に提供することが可能になります。



タブレットでバルブの状態を確認しているイメージ

長坂工場に新しい高周波誘導炉を導入



2020年8月、長坂工場に溶解重量500kgの高周波誘導炉を導入しました。従来、特殊材料鋳物の製造は、溶解重量1tの高周波炉で行っていますが、新たに500kgの設備を導入することにより、少量の特殊材料鋳物にも対応できるようになるとともに、リードタイム短縮の効果による短納期を実現することができます。また、炉体の小型化によるランニングコストの低減や直行率*の向上も期待できます。

※直行率:製造ラインに乗せられた品物のうち、初工程から最終工程まで順調に通過した品物の割合

KITZ SDGs Week 2021を開催

2021年2月、「KITZ SDGs Week 2021」を開催しました。この社内イベントは、持続可能な社会を実現するために、社員が「SDGsを楽しく知る」、「17のゴールとキッツグループの事業のつながりを認識し『自分ゴト化』する」ことを目的として企画したものです。公募に応募した実行委員がパネル展示、SDGsクイズなど、企画から運営まで全て手づくりで行いました。また社員食堂では、サステナブルフードを使ったメニューが提供されるなど、多くの社員がSDGsについての理解を深める機会となりました。



事業所地域との連携

長野県には伊那工場と茅野工場の他、キッツグループの多くの事業所が所在しています。地域と連携した取り組みとして、伊那工場及び茅野工場の社員食堂を災害時の緊急避難場所として提供する協定を行政機関と結んでいます。

2020年9月には、グループ会社の株式会社ホテル紅やが宴会場で使用し廃棄を検討していた畳262枚(表替え済み)を、避難所で使用していただけるよう諏訪市に寄贈しました。また、2020年11月には、グループ会社の株式会社キッツマイクロフィルタが、携帯用浄水器「スーパーデリオス」を災害時に提供する協定を茅野市と締結しました。



伊那工場 社員食堂



携帯用浄水器「スーパーデリオス」

株主優待のご案内

キッツは、株主の皆様のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(2020年12月31日時点で100株以上保有されている株主様が対象)。

100株以上

①グループ会社優待券

キッツグループの商品・サービスより、家庭用浄水器及びホテルの各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。



株式会社キッツマイクロフィルタ
家庭用浄水器「ビュリフリー」

1,000株以上

①グループ会社優待券

上記に同じ

②オリジナルクオカード



- 1,000株以上 1,000円券 1枚
- 2,000株以上 2,000円券 1枚
- 3,000株以上 3,000円券 1枚

③北澤美術館

ガラス工芸品カレンダー 1部



2021年版カレンダー

●長期保有株主優待

12月31日時点で、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、北澤美術館 日本画カレンダーの大判サイズまたは卓上サイズ、日本赤十字社への寄付(1,000円)よりいずれか1点をお選びいただけます。

●新規株主様への優待

6月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー1部をお送りいたします。

株主優待制度による寄付のご報告

2020年3月31日時点の株主様を対象とした株主優待において、「日本赤十字社への寄付」をお選びいただいた株主様からの義援金につきましては、下記の通り寄付いたしましたのでご報告申し上げます。

・寄付金額:520,000円 ・寄付日:2020年12月25日

株式の状況

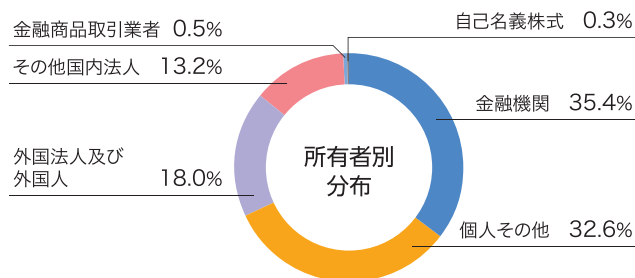
- 発行可能株式総数 400,000,000株
- 発行済株式の総数 90,120,989株

(注) 1. 2020年10月23日付にて実施した自己株式の消却に伴い、発行済株式の総数は10,000,000株減少しております。
2. 上記の発行済株式の総数には、当社が2020年12月31日に保有する自己株式275,522株を含めておりません。

- 株主数 11,226名
- 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行	8,208 9.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	5,398 5.99
北沢会持株会	4,757 5.28
日本生命保険相互会社	4,303 4.78
住友生命保険相互会社	3,426 3.80
公益財団法人北澤育英会	3,411 3.79
キッツ取引先持株会	3,151 3.50
株式会社三井住友銀行	2,553 2.83
キッツ従業員持株会	2,030 2.25
セコム損害保険株式会社	1,702 1.89

(注) 1. 当社は、2020年12月31日現在、自己株式275千株を保有しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式477千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。
2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
株式会社日本カストディ銀行 8,208千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 5,398千株
3. 住友生命保険相互会社の持株数には、変額口1千株及び特別勘定15千株を含んでおります。



期末配当金のお支払について

2021年2月12日開催の当社取締役会におきまして、第107期の期末配当金について、以下の通り決議されております。

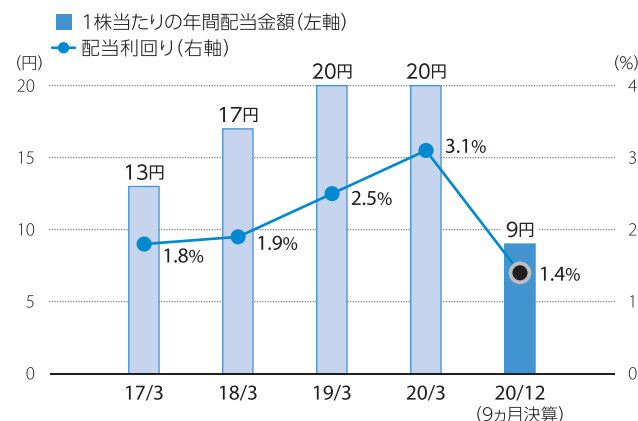
期末配当金:1株当たり 金4円

効力発生日ならびに支払開始日:2021年3月12日(金)

同封の「第107期期末配当金領収書」により、払渡しの期間(2021年3月12日~2021年4月12日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第107期期末配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、配当金を、株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけており、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要な投資額等を考慮したうえで、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。



株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日(決算期変更の変則期間である第107期は9ヵ月決算)
 定時株主総会 3月
 基準日 定時株主総会議決権 12月31日
 期末配当金 12月31日
 中間配当金 6月30日
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。
 公告掲載方法 電子公告
 公告掲載URL (<https://www.kitz.co.jp/>)
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 電話 0120-232-711(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

会社概要 (2020年12月31日現在)

商号 株式会社キッツ
 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
 TEL (043)299-0111(大代表)
 代表者 代表取締役社長 堀田 康之
 資本金 21,207,084,670円
 設立年月日 1951年1月26日
 従業員数 (単体)1,383名 (連結)5,090名

ウェブサイトのご案内

企業情報の他、決算情報や財務データなどを掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp/>

